会 議 録

1 会議名

令和7年度 第2回高士区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的な審議事項について

3 開催日時

令和7年5月15日（木）午後6時30分から午後7時28分まで

4 開催場所

高士地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員：上野副会長、塩尻委員、高橋会長、田中委員、塚田(幸)委員、馬場委員、日向副会長、保坂委員、山口委員、山本委員（欠席2名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【高橋会長】

- ・会議録の確認：塚田幸一委員に依頼

次第3 議題「(1) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【鈴木主事】

前回、各分野について多くの意見を出していただいたが、課題解決を検討する時間等を考えると、今後の地域協議会で全てを取扱うことは難しい。このため、各団体から話を聞いただけにならないよう、団体へ何を聞くのかを各分科会で優先順位を付けていただきたい。

なお、優先順位が低い場合でも、今後全く触れないというわけではない。あくまで団体から何を聞くのかという優先順位であるため、話を聞いた結果、自主的審議事項のテーマを検討する際に今回優先順位が低かった意見が関わってくることも考えられる。

- ・資料1に基づき説明

本日は、内容の整理と確認したいことの優先付けについて協議し、結果を分科会ごとに発表していただく。その後、各分科会の優先順位について全体で確認し、投票用紙に9つの意見の中から優先順位第1位から第3位までを個人で選び、記入していただく。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

質問がないようなので、分科会に分かれ、協議に移る。

(各分科会に分かれて協議)

各分科会で出た意見について、発表を求める。

A 子育て・教育、健康・福祉

【高橋会長】

第1位はコミュニティ。資料1では高齢者に限定されているが、高齢者だけではなく、地域全体に関わるものだと考えられるため、第1位とした。高齢者の項目のすこやかサロンや地域活性化の夏祭り等のイベントもコミュニティと関連しているので、上手くまとめることはできないかと考えた。やはり子供から高齢者まで皆で活用できるような何かを、公民館を中心としたエリアでできればと思う。今は、近所付き合いがあまりないので、それに代わる交流について様々な団体の方に話を聞いてはどうか。

第2位は子育て(保護者)。保護者が周囲とコミュニケーションを取ることができる機

会というのは、子育ての中で重要だと考える。また、公的支援の状況等を行政からアドバイスを聞くことで、地区として対策を講じることができるのではないかと思う。

第3位は人口減少。高土区の人口減少は顕著である。市の情報によると、人口が今の1200人から2050年には500人程度まで減少してしまう。これは何もしなければ現実になると考えられ、危機感を持っている。地域や各団体に人口減少の現状を知ってもらい、地域の意識付けを高めていきたいと考える。また、若者が出て行ってしまうので、Uターン、Iターン、Jターンの状況について聞き、魅力的なものを作って高土区の人口を増やす方法はないか、行政からの情報等を参考にしながら協議する必要があると思う。

B 農林(漁)、商工業・観光

【日向副会長】

第1位は観光。今は高土ルミネが年に一度の一大イベントになっているが、これを半年に一度ぐらいの期間で盛り上がるようなイベントを企画してはどうかと思う。

第2位は高土区の農家の現状。まずは農家の現状を知ることから始める必要があると考える。

第3位は農業者の減少。第2位にも関連するが、農業の担い手に関する現状を委員全体で知る必要があると考える。

C 防災・交通、健康・福祉

【上野副会長】

第1位は高齢者が不便だと思うことにした。運転免許証の返納後の移動手段に関し、バス停までの距離があり、出掛けづらいということが挙げられた。このことについて、75歳以上の方には1割の補助が出るという情報もあるが、免許返納者への補助等の有無について確認したい。

第2位は高齢化。医療機関への移動方法と、健康診査の受診率の低下が問題として挙げられた。高土区の健診は高土地区公民館ではなく、ファームセンターと清里区総合事務所でされており、そこまで行くのも大変である。昨年度の高土区では、4割しか受診していないという話もある。

第3位は防災訓練。高齢者が増加している中で、いつ、どこで、どんな災害が発生するか分からない。防災士会、防災防犯協会に働きかけ、防災訓練をして、高齢者を避難させる手段を考える必要がある。特に高土区には南方の方の山に活断層があり、地震が発生した場合に大口町内、南方町内、十二ノ木町内に土砂災害が発生すると、ハザード

マップに表記があるので、これを踏まえて防災訓練を優先項目とした。

【高橋会長】

各分科会の発表内容を踏まえて、配布された投票用紙の記入に移る。個人で決めかねる場合は、各分科会で話し合い、記入しても構わない。

(投票用紙に記入)

集計結果については次回以降の協議に反映させる。

以上で、次第3 議題「(1) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

・ 次回の地域協議会：6月19日（木）午後6時30分から

高土地区公民館 大会議室（予定）

【高橋会長】

以上で次第4 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4 その他「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(発言無し)

【上野副会長】

・ 閉会の挨拶

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。